

学道一如

発行
小樽双葉高校
生徒会通信
2026年1月20日
第52号

スキー部インターハイに8名出場権



高体連学校対抗で女子が優勝



国体予選会の田野双葉さんの滑り

GS優勝できてびっくり
GS優勝 石川歌葉

「思った以上にタイムが速く、1位となりびっくりしている。」

第78回南北北海道高等学校スキー競技選手権大会

- GS 女子
 - 優勝 石川歌葉 (3-4)
 - 4位 田野双葉 (3-3)
 - 6位 石水ほたる (1-2)
 - 9位 吉澤桃華 (1-2)
- GS 男子
 - 2位 鈴木瑛太 (2-4)
 - 4位 五十嵐暖 (3-4)
 - 11位 山田悠貴 (1-4)
- SL 女子
 - 2位 石水ほたる (1-2)
 - 3位 田野双葉
 - 8位 吉澤桃華
- SL 男子
 - 4位 五十嵐暖 (3-4)
 - 11位 鈴木瑛太 (2-4)
 - 15位 井上創太 (1-3)

第77回北海道体育大会兼第80回国民スポーツ大会北海道予選会

- 女子
 - 優勝 田野双葉 (3-3)
 - 2位 石水ほたる (1-2)
- 男子
 - 優勝 五十嵐暖 (3-4)
 - 4位 鈴木瑛太 (2-4)
 - 5位 山田悠貴 (1-4)

1月15日から開催された第78回南北北海道高等学校スキー競技選手権大会ならびに第77回北海道体育大会兼第80回国民スポーツ大会北海道予選会にスキー部員13名が出場し、8名が全国大会出場権を手にした。女子SLでは石川歌葉さんが優勝、国体予選では田野双葉さんと五十嵐暖くんが優勝するなど、両大会で優秀な成績を残し、全国大会への弾みをつけた。また、高体連の学校対抗で女子が優勝を成し遂げた。

国体予選 5名本選へ 田野双葉、五十嵐暖 優勝、

全国では怪我をしないように、全力を出し切って滑ることができた後悔なく終われると思う」と語る。

第一シード獲得に安堵

国体優勝 田野双葉

「大学受験でシーズンインが遅れ、その後、捻挫やインフルエenza感染があり、調整が難しかったが、インターハイ予選で入賞し、第一シードに入れてほっとしている」と語る。

雪質なんとか調整できた

SL2位、国体2位

石水ほたる

「当日の雪質がめっちゃめっちゃ柔らかく難しかったが、少ない練習でなんとか調整できた。全国は全道とは違い、レベルの高い人がたくさんいるので、勝てるようにしっかりと調整したい」と前向きに語っている。

まずは自分の滑りを

GS9位、SL8位 吉澤桃華

「スタート前は自信がなく不安だったけれど、入賞することができ、インターハイ出場権を得てよかった。全国で入賞できたらいけれど、まずは自分の滑りができるように頑張りたい」と語る。

インターハイは2月5日から長野県菅平高原で、国体は2月15日から青森県大鰐スキー場で開催される。スキー部の全国での活躍を祈る。